

令和元年度 奈良県教育長賞

「海外と比べて感じた税について」

奈良県立奈良北高等学校 一年 内原 花菜子

私は水が好きです。日本の水道の、綺麗な水が好きです。

この夏休みに私はイギリスへ行きました。そこで、様々なものに対して、違いを感じました。水もその中の一つです。何が違ったかという、飲んでいておいしくないのです。それに、硬水なので洗った髪はすぐに傷んでしまうのです。私はこのことを知ったうえでイギリスへ行きましたが、実際に違いを体感してやっと本当に気がつけました。

気がつけたのは良かったのですが、ここで一つ私には疑問がうかびました。それは、「どうして水の一つでこんなにも違うのか。」

ということです。私は、インターネットで調べる前に、色々と自分でも考えてみました。

「日本が島国でたくさんの水が手に入るからなのか？いや、イギリスも海に囲まれているはずで、あまり変わらないはずだ。」などと考えてみましたが答が出そうにないので調べてみました。すると、理由はすぐに分かりました。

まず日本の水道は国が管理、つまり税金で保たれている部分があるのです。それに対し、イギリスは、二十五年程前に完全水道民営化され、民間の企業が水道の管理をしています。何の問題も無いように感じますが、会社での不正や値上がりなどもあり、国民からは反発の声も多くあがっているそうです。このことを調べ私は、国が管理してくれているって、大きい事なんだなと感じました。でもその大きいことを支えているのは、私たち国民が払う小さな税金から出来ているんだとも思いました。

そして、税に関しての違いを大きく感じる場面がさらにありました。それは、空港で買い物をした時のことです。外国人は免税だったのですが、税を引いてもらうだけで千円くらいの商品が七百円ほどになりました。その時、税が占める金額におどろきました。

そして十月、日本でも税の制度が変わります。よくニュースでも目にしますが、レジの変更などに店は追われているようです。変更する今は大変かもしれませんが、その後の私たちの生活が便利になり、福祉も充実するのであれば、特に悪くて嫌なものだとは私は思いません。むしろ必要なのではないかとも思います。しかし、払うお金が多くなるのだから有意義なことに使ってほしいと考えます。

これがこれからの日本を創っていく若者の一員である私の考えです。